

乙訓保健所管内の感染症発生動向調査による週報 (小児科定点、インフルエンザ定点)

第 31 週 平成28年8月1日 ~ 平成28年8月7日

今週のコメント

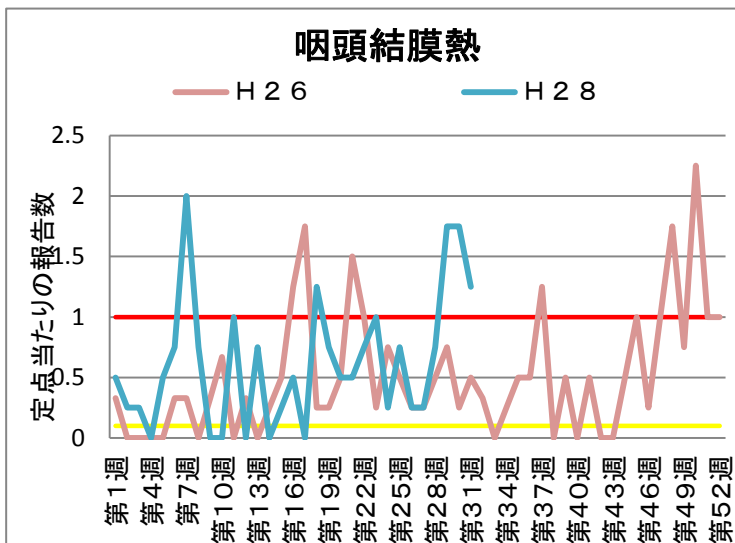
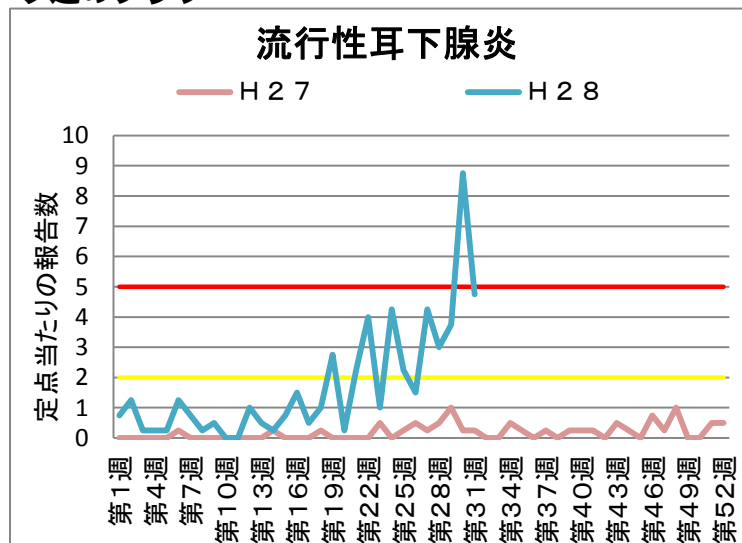
○前回の第30週(7/25~7/31)に乙訓地域で流行警報レベルとなった流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)の報告は、第31週(8/1~8/7)に入り減少しています(定点当たり4.75件)。保育所・保育園の欠席者情報収集システムでも今週(8/8~)に入ってから、ようやく少なくなってきましたが、まだ、注意が必要です。片側または両側の耳下腺の腫脹、疼痛、発熱などの症状に気付かれた場合は、はやめに医療機関を受診しましょう。

○咽頭結膜熱(プール熱)の報告も減少傾向です(定点当たり1.25件)。

○夏休みに海外に行かれる方は、下記URL「夏休みにおける海外での感染症予防について」(厚生労働省)をご参照ください。

http://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/travel-kansenshou.html

今週のグラフ



* 流行警報基準値です (Red line) 警報継続基準値です (Yellow line)

今週の報告状況

疾病名	定点当たりの報告数	疾病名	定点当たりの報告数
インフルエンザ	-	手足口病	1.75
RSウイルス感染症	-	伝染性紅斑	-
咽頭結膜熱	1.25	突発性発しん	0.5
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1	百日咳	-
感染性胃腸炎	6.75	ヘルパンギーナ	0.5
水痘	0.25	流行性耳下腺炎	4.75

定点当たりの報告数 = 1週間の報告件数総数 / 定点数

* 乙訓管内 インフルエンザ定点数：7箇所、小児科定点数（インフルエンザ以外の疾病）：4箇所

参考資料等

報告週対応表

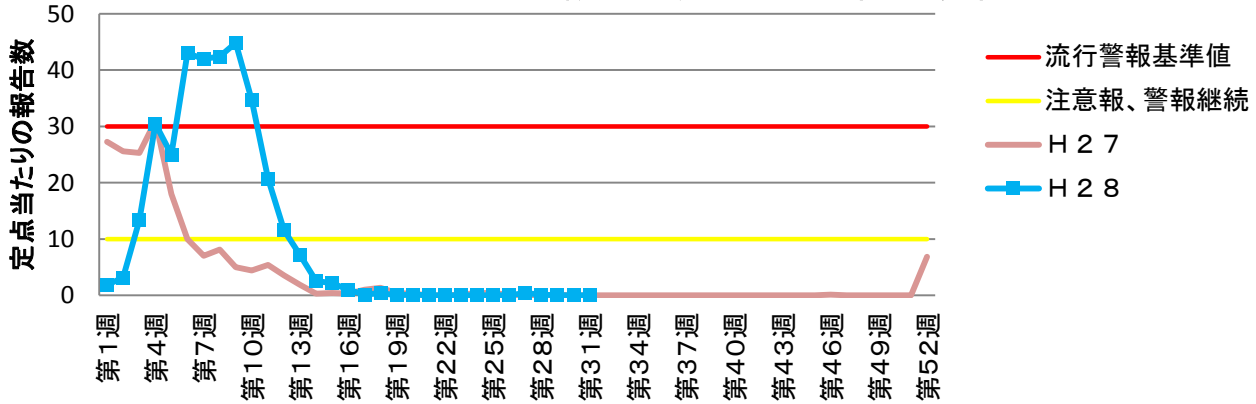
<http://www.nih.go.jp/niid/ja/calendar.html>

警報・注意報基準値の説明

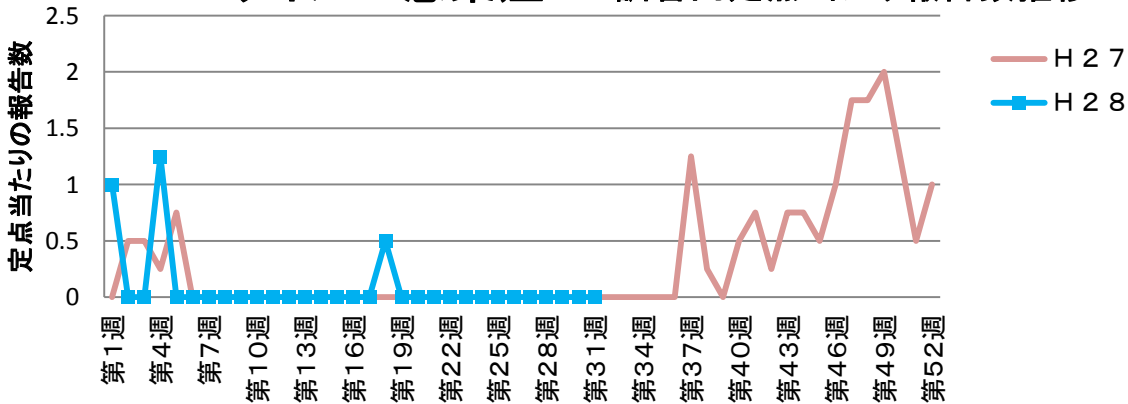
<http://idsc.nih.go.jp/disease/influenza/inf-keiho/guide03.html>

定点報告による各疾病の推移

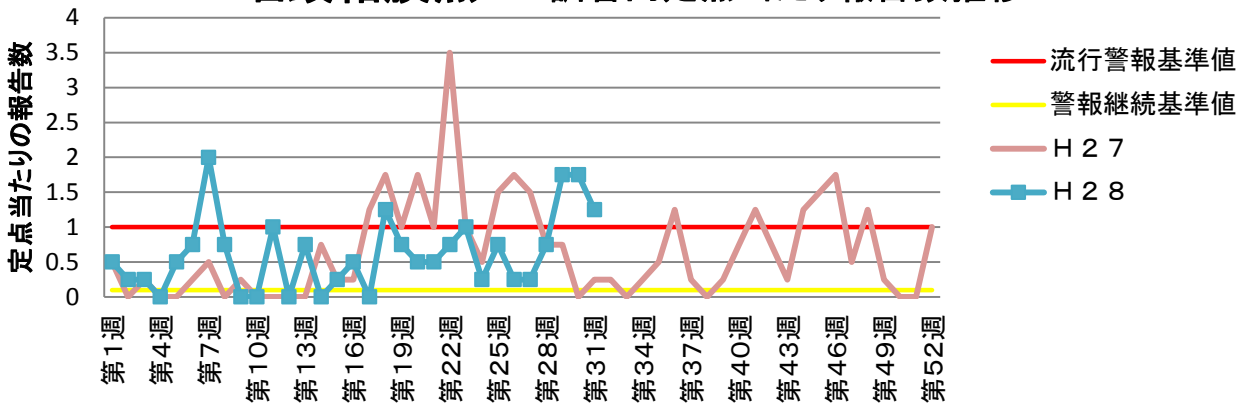
インフルエンザ 乙訓管内定点当たり報告数推移



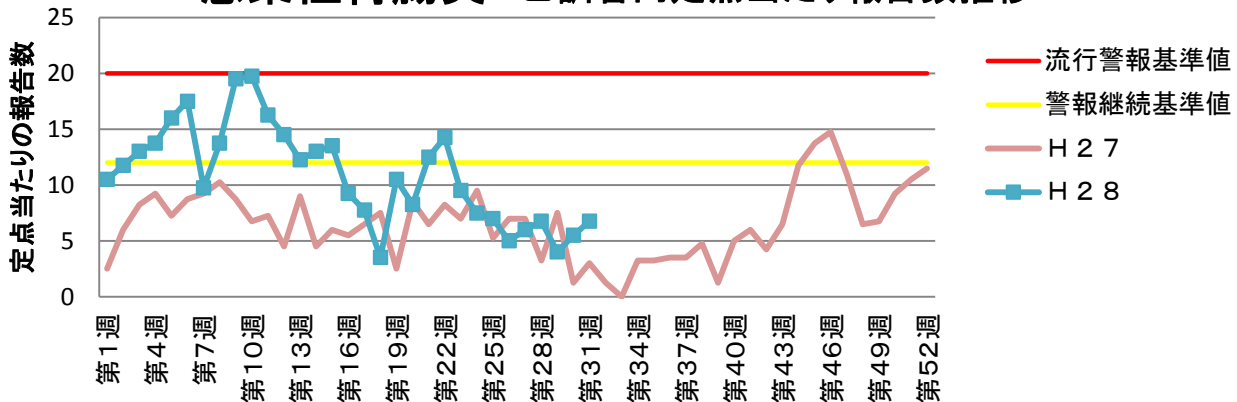
RSウイルス感染症 乙訓管内定点当たり報告数推移



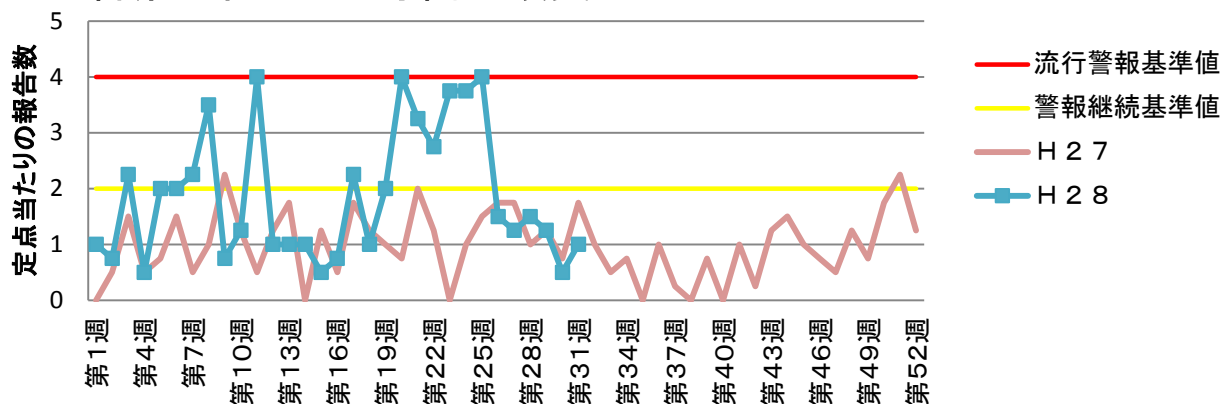
咽頭結膜熱 乙訓管内定点当たり報告数推移



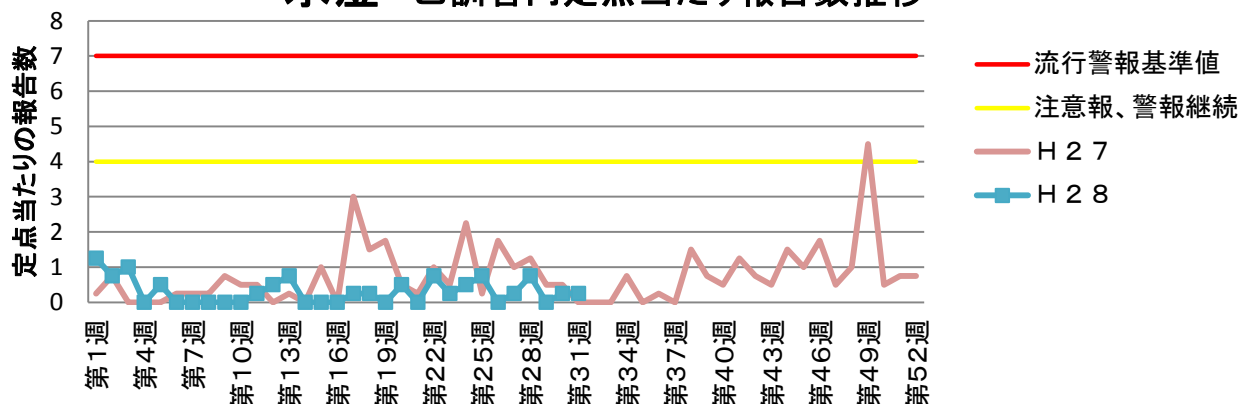
感染性胃腸炎 乙訓管内定点当たり報告数推移



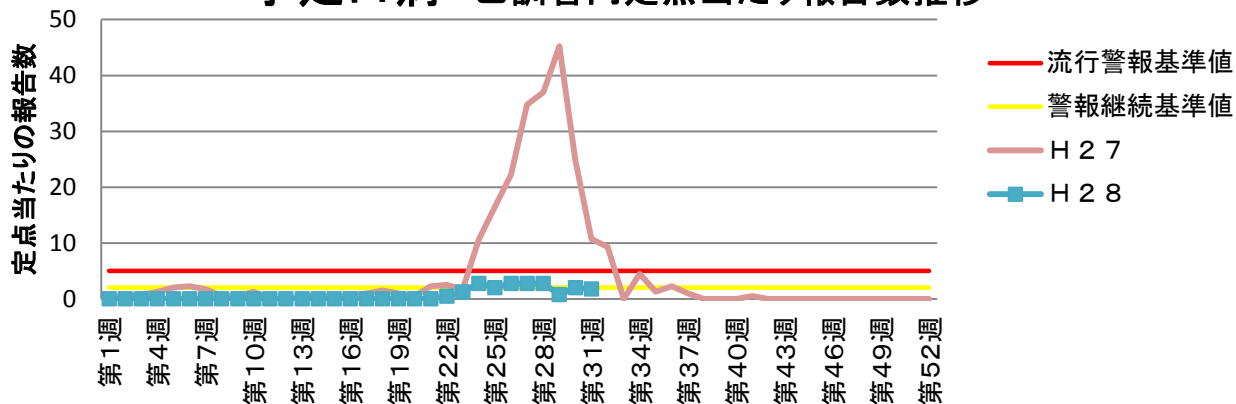
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 乙訓管内定点当たり報告数推移



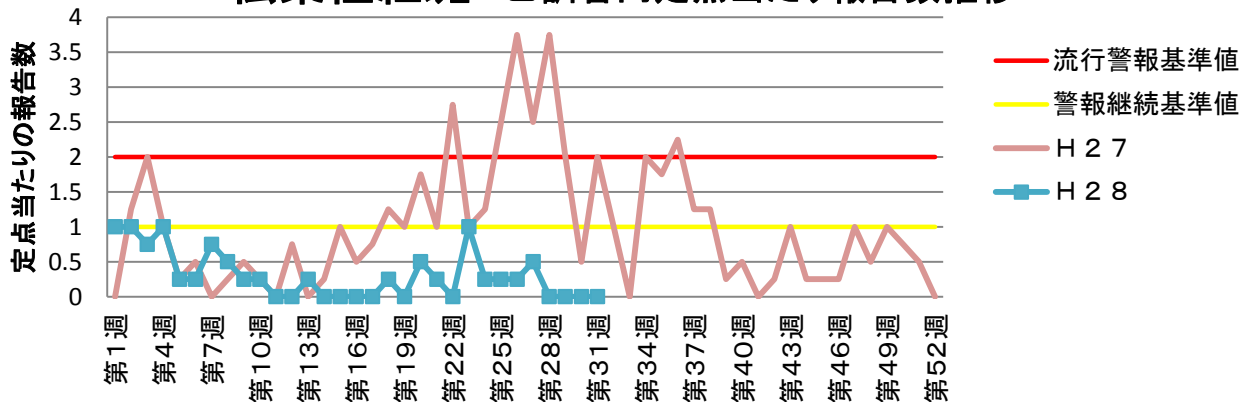
水痘 乙訓管内定点当たり報告数推移



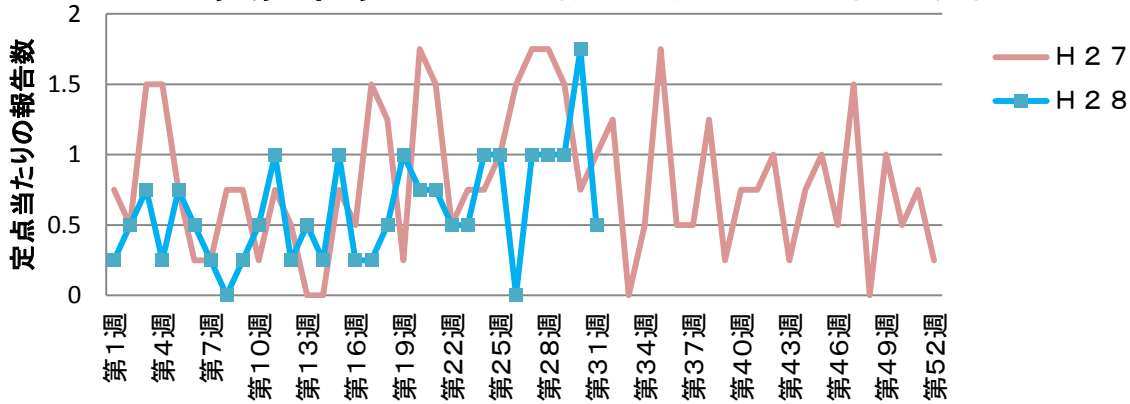
手足口病 乙訓管内定点当たり報告数推移



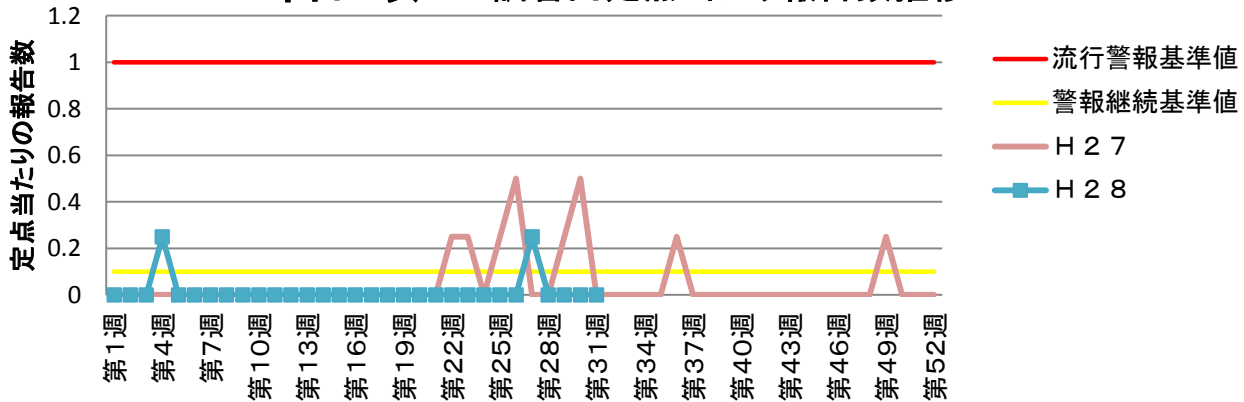
伝染性紅斑 乙訓管内定点当たり報告数推移



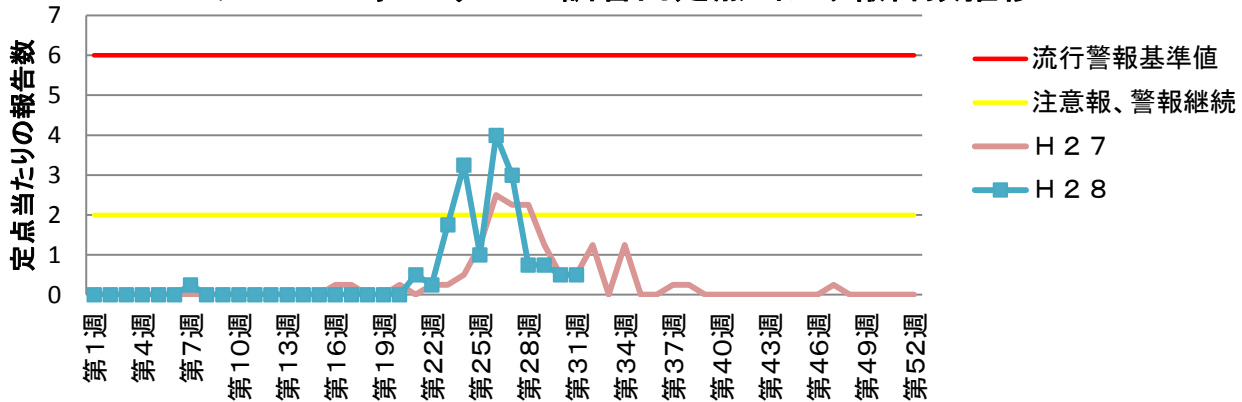
突発性発しん 乙訓管内定点当たり報告数推移



百日咳 乙訓管内定点当たり報告数推移



ヘルパンギーナ 乙訓管内定点当たり報告数推移



流行性耳下腺炎 乙訓管内定点当たり報告数推移

